

理念体系

当社グループは、「100年企業の創造」という企業理念を基盤に、「経営情報の大衆化」という創業来のミッション実現に向け、グループ社員一丸となって邁進しています。目指すは“BE GLOBAL”。

世界に通用するソフトウェア会社へと進化を遂げ、広く社会経済の発展に貢献します。



当社グループは、日本における成長機会を追求しつつ、**世界水準のSaaS企業をベンチマークとして、世界に通用するソフトウェアカンパニーとしての地位確立**を目指します。

当社グループは、「経営情報の大衆化」実現により、**多くの会社が未来に向けて持続的に企業価値を創造できる経営情報システムを構築し、ひいては広く社会に「最善の経営」を普及させることを企業使命**とします。

当社グループは、公器としての透明性や経営観を世代を超えて継承し、**全メンバーが社会への価値提供を自由かつ創造的に行うことに燃える結果として、100年続く企業**となることを企業理念とします。

当社グループ社員は、以下の価値観を大切にします。

OPEN：開かれた精神を基礎となす。

VALUE：価値創造への情熱を育てる。

STRETCH：最善への挑戦を続ける。

会社概要

会社名 株式会社アバントグループ
創立 1997年5月26日
所在地 東京都港区港南2-15-2
品川インターシティB棟13階
従業員数(連結) 1,226名(2022年6月末)
資本金 329,128,099円(2022年6月末)
発行済株式総数 37,625,501株(2022年6月末)
単元株 100株

株主数 3,311名(2022年6月末)
上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
証券コード 3836
決算期日 6月30日
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

MISSION

経営情報の大衆化

～経営情報を未来の地図に変えていく～

当社グループは、創業来「経営情報の大衆化」をミッションに掲げ、ITを活用して経営情報を可視化することで、企業経営における意思決定をサポートしてきました。また意思決定のプロセスにおいては、経営層のみならず、多くの社員が経営情報に接することができる環境をつくることで、開かれた議論と透明性のある意思決定が行われることが大切だと考えました。これが「大衆化」の意味するところです。

一方、この数年で企業を取り巻く経営環境は大きく変化しています。企業価値の向上を目的とするガバナンス改革やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、さらには企業にサステナブルな成長を求めるESG投資の台頭です。こうしたなか、企業における「経営情報」は、意思決定に重要な役割を担うだけでなく、企業価値の創造や持続的な成長の実現に大きく関わる存在になっています。

当社グループでは、こうした社会情勢を踏まえ、「経営情報の大衆化」というミッションをさらに進化させています。これからの時代における「経営情報の大衆化」の目的は、「最善の経営」を社会的に広く普及させることです。「最善の経営」とは、サステナブルな経営で長期的に企業価値を創造していくことにほかなりません。当社グループは、経営情報を未来の企業価値をつくる情報として有効活用できる先進の情報システムやソリューションの提供により、「経営情報の大衆化」第二ステージに向けた躍進を目指します。

株式情報

大株主の状況 (2022年6月30日現在)

氏名または名称	所有株式数(株)	構成比(%)*
森川 徹治	9,764,000	25.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,067,700	8.15
アバント従業員持株会	2,287,200	6.08
野城 剛	1,868,800	4.97
株式会社オービックビジネスコンサルタント	1,600,000	4.25
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,537,100	4.09
JP MORGAN CHASE BANK(常任代理人 株式会社みずほ銀行)	1,146,900	3.05
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	911,291	2.42
FCP SEXTANT AUTOUR DU MONDE (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	874,600	2.32
ピー・シー・エー株式会社	778,400	2.07

* 発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合

主体別株主構成 (2022年6月30日現在)

